

シルバー てんどう

2017 第50記念号

平成29年1月15日発行

編集発行/
公益社団法人天童市シルバー人材センター
〒994-0013 山形県天童市老野森二丁目6番3号
天童市総合福祉センター2階
電話 (023) 654-7388 FAX (023) 652-0213
ホームページ <http://webc.sjc.ne.jp/tendo/>
メールアドレス tendo@sjc.ne.jp



新年の準備、着々と

12月に入り、雪囲いが急ピッチで。会員が手際よく松を吊ったり、サツキを束ねたりしていました。冬休みみどりのスクールが12月23日に開校し、子どもたちが正月リースを手作りしました。



地域に貢献！

10月第3土曜日は「シルバーの日」。会員125人が参加して、市役所まわりの草取りを行いました。各地域班でも、公園の清掃などに取り組みました。



目次

- 新年のごあいさつ 2
- 事業実績・法制化30周年 3
- 会員のたより 4
- 安全標語・会員拡大運動 5
- 特集 シルバーの歩み 6
- わが町探訪 高掬地区 7

働く喜び・生きがい・健康増進

会員さん募集中！

年頭の挨拶



理事長 近藤 壽一

新年あけましておめでとう
ございます。

皆さまにおかれましては、
御家族とともに、お健やかに
新春をお迎えのこととお慶び
を申し上げます。

シルバー人材センターは、
市民の皆さまと行政の御支援、
御協力のもとに運営されてお
り、日ごろの御厚意に感謝と
お礼を申し上げます。

さて、シルバー事業は、急
速に進む高齢化社会で発想さ
れた就業システムで、その理
念は、「自主・自立・共働・共助」
という言葉で表されておりま
す。私たちが生活している天
童市において、高齢者が自主
的に連帯し、共に働き共に助
け合いを基本とし、あわせて
ボランティア活動等を通して
活力ある地域社会づくりに寄

与することを目的とした公益
社団法人です。

これからも、地域社会の
ニーズの変化に的確に対応し
ながら、市民の皆さまに期待
され信頼される事業運営に努
めてまいりたいと思えます。

私たちの当面する課題は、
生涯現役社会を実現するため
働きたいと願う高齢者の希望
に応えられる就業先の開拓と、
発注者の依頼に即応できる会
員の確保・拡大であります。
豊かな知識と技能を持った
元気な高齢者のうち、実際に
働いている方が2割に止まっ

ているとの、労働力調査結果
を見ますと、高齢者の社会参
加を後押しするシルバーの存
在感と認知度が浸透していな
い表れでもあります。

よって、シルバー会員・役
職員一同は、あらゆる機会の
活用と創意工夫を凝らして、
皆さまの御要望に応えられる
ように努力をいたします。

おわりに、市民の皆さまと
関係機関の方々に変わらぬ御
理解と御協力をお願い申し上
げ、皆さま方の益々の御活躍
と御健勝を祈念しまして、新
年のあいさつといたします。



天童市長 山本 信治

新年のあいさつ

新年あけましておめでとう
ございます。

天童市シルバー人材セン
ターの会員及び職員の皆様に
おかれましては、健やかに新
年をお迎えのことと心からお
喜びを申し上げます。

昨年の市長選挙におきまし
て、引き続き三期目の市政を
担わせていただくこととなり
ました。

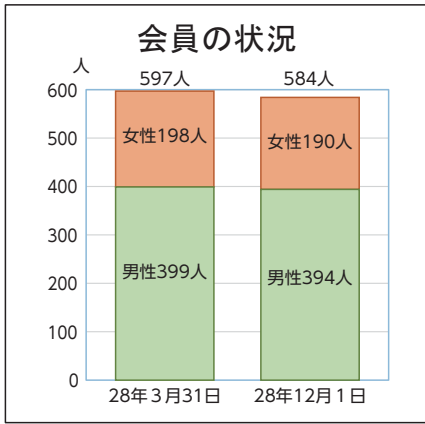
今後とも慢心することなく、
本市の将来都市像である
「笑顔にぎわいしあわせ
実感健康都市」の方向性を
さらに発展させ、子どもから
高齢者までが心身ともに健康
で、暴力や犯罪がなく、あら
ゆる産業が健全に発展し、ス
ポーツや芸術文化に親しみ、
健全な行財政運営を行ってい
る、あらゆる意味での「健康

都市」を目指してまいりたい
と考えております。

さて、貴センターにおかれ
ましては、昭和61年の設立以
来、会員の皆様の生きがいづ
くりや社会参加の促進につい
て尽力されるとともに、本市
の福祉の向上や地域社会の活
性化にも多大な貢献をしてい
ただいており、深く感謝申し
上げます。

少子高齢化の進展が著しい
現在、地域社会の活力を維持
していくためには、「元気な高
齢者」である会員の皆様が、
これまで培ってこられた知識

や経験を十分に生かしなが
ら、積極的に活動していただくこ
とが何より重要となつてきま
す。ぜひとも、皆様からさら
なるお力添えを賜りますよう、
よろしくお願い申し上げます。
結びになりますが、今後と
も、「自主・自立・共働・共助」
のシルバー人材センターの基
本理念の下、地域社会に根ざ
しながら、貴センターがより
一層発展され、また、会員及
び職員の皆様のますますの御
活躍と御健勝を祈念いたしま
して、新年のあいさつといた
します。

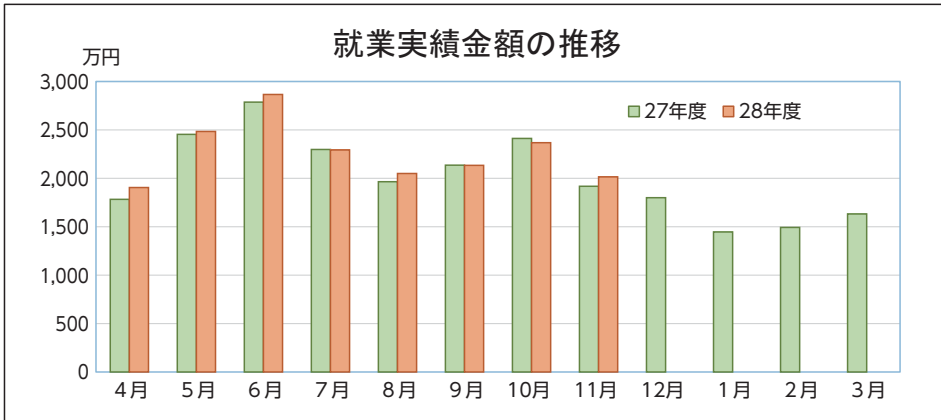


平成28年12月1日現在

用制度の影響と考えられます。一方で加齢や病気による退会者が65人を数え、12月1日の会員数は584人で、前年度末より13人減っています。いち会員いち就業開拓の成果か、就業実績は堅調に推移。契約金額で前年同期より2%増の1億8100万円、就業

平成28年度 事業実績

今年度12月まで52人がシルバーの仲間に加わりました。入会時の平均年齢は、5年前(23年度)の65歳に対し今年度は68歳。これは、25年4月に施行された継続雇



延人数は850人多い4万7600人。請負契約ではスポーツ施設管理の新規受注があり、派遣契約では学童クラブや幼稚園での補助業務が、働く場の拡大につながりました。

シルバー人材センター
満30歳

健康で働く意欲のある高齢者が、長年培った知識と経験を生かし臨時的・短期的な就業を通じて社会に貢献しようという目的で、昭和61年(1986年)4月、「天童市高齢者事業団」が誕生しました。

平成4年(1992年)1月、事業団を引き継いだ「社団法人天童市シルバー人材センター」を設立し国庫補助団体に、平成24年(2012年)4月、公益認定を受け「公益社団法人」に名称変更し、現在に至っています。

また、国会で「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」が成立し、シルバー人材センターが法制化されたのも昭和61年(1986年)です。

天童市でシルバー事業が開始され、法的に整備されて、ともに30周年が経過しました。

天童市シルバー人材センターは、高齢者の生きがいの充実と社会参加の推進のため、これからも会員拡大・就業拡大、講習会の実施等に取り組みます。

会員のたより

就業を通して感じたこと

会員 村形 カツ子

(温泉班)

私は、仕事が大変なのは当り前ですが、働いている仲間とのコミュニケーションが一番大事だと考えています。

なぜなら、人として生まれ、みんな一人ひとり違うので、簡単なようで難しいのです。幼いころからの親のしつけかな？ 私は小さい時から両親がいない家庭で育ちました。でも、兄弟やおじいさんがいたおかげで、どんな立場にいてもクリアできる、本当に良かったと思います。

シルバーに入って、また仲良く仕事ができること、とても嬉しく思っています。

どんな小さなことでも話し合いをし、歳を重ねることに

勉強ですね。体も若い時と違い、弱い部分が出てきます。一歩一歩階段を登って行くように、安全に働きましょう。

私が必ず思うことは、初心に帰って、仕事の前に真に考えて、もう一度見直すことが大事です。

希望を持って働き、自分に對し心の中で「ごころうさま」。そんなささやかで温かな心で生きる、そうすれば明るい社会づくりになると、私は思います。

みんなで頑張りましょう。

感謝に努力

会員 東海林 仙伍

(北久野本東・天童原班)

入会して10年程になりました。初めての就業は、リンゴの摘花でした。果樹作業の経験

がなかったので大変不安でしたが、家主から事細かに説明を受け、先輩からも温かい指導を受けながら少しずつ興味がわき、できるようになりました。

休憩の時に、依頼主の方から「果樹作業は収穫に大きく影響します」ということで、サクランボ、リンゴ、ラ・フランス等の収穫までについて、地域の講習を1年かけて受講することを勧められ、私はすべて参加を了承し、無事修了しました。

その後の作業で自信がつき、どこへ行っても、依頼主の方針や意向の説明を受けるとすぐ体得でき、安心して果樹作業ができるようになりました。依頼主の方、そしてすてきな方々との出会いに本当に感謝しています。

休みのときは、ラージボール卓球クラブで汗を流し、体力をつけています。まず健康であれば安全・安心・自信を持って仕事ができます。

果樹作業は大好きで楽しいです。どんな作業でも一生懸命に行い、きつと満足し喜んでいただけるように、日々前進努力しています。

「入会説明会」にお越しください

シルバー人材センターの事業内容と働き方を、担当役員が詳しく説明します。天童市にお住いの健康で働く意欲のある**60歳以上の方**は、どうぞお越しください。

とき 2月15日(水)・3月3日(金)・3月13日(月) 午前10時~11時30分

ところ 天童市総合福祉センター

◎入会希望の方は、事前にお電話でお申し込みのうえ、説明会にご参加ください。

ひ さか と し お 泉町班 久下稔男さんが入選!

平成28年度 安全就業標語

👑 最優秀 慣れるほど 初心にかえれ 安全就業
 👑 優 秀 見たつもり 伝えたつもりが 事故まねく
 「安全」は いつも「危険」と 紙一重
 👑 佳 作 **事故ゼロで 帰ってきてね!**と 孫の声
 安全は 仲間の注意と 思いやり
 過信する 下手なうぬぼれ 怪我のもと
 まあいいか 軽い気持ちか 事故のもと
 口ほどに 達者でないぞ 足と腰

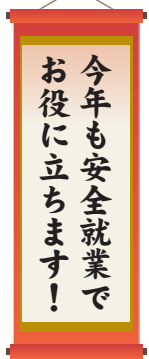
寒河江市 佐藤 忠幾 さん
 小国町 山口 子子 さん
 東置賜 佐々木弘幸 さん
 天童市 **久下 稔男 さん**
 新庄最上 原田美恵子 さん
 河北町 佐藤 勝也 さん
 米沢市 齋藤 竹市 さん
 南陽市 山口 恒助 さん



10月11日、県安全大会で受賞した久下会員(中央)



7月8日、学童保育従事者講習でAED操作を実習



会員拡大運動

広報・就業調整委が合同で

当センターの会員数が減少傾向。一方、超高齢化社会が進み、生活援助等の個人からの依頼が増加。働く会員が足りません。

そういったなか、広報委員会で話し合い、広報紙発行のほかには会員拡大に向けた行動を起こそう!と。

まず、手作りの会員募集ポスターを9月末に、4人の役員が手分けして市内の公民館ほか公共施設に持参し、掲示していただきました。

10月のシルバー1月間には、近藤理事長をはじめ就業調整委員の協力を得て、市内のスーパーやホームセンターで、買物客にチラシを配りながら広報活動を行いました。

活動の効果は11月の入会説明会に表れました。

「チラシを見て来ました」という方が6名中4名。

地道な活動ですが、これからも継続性をもって行動すれば、結果は自ずと出ることを信じて、委員一同これからもがんばります。

60歳以上で仕事を求めている市民のみならず、一度説明会に参加してみませんか?



スーパー前でビラ配り

創刊50号
特集

表紙でつづる シルバーの歩み



第22号 H15.7.15発行
「シルバーてんどう」に改題



第16号 H12.10.1発行
ていねいな作業が好評



第5号 H6.9.1発行
市総合福祉センター建設



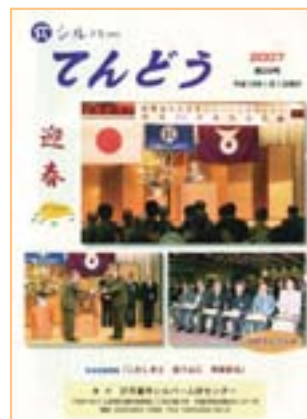
第1号 H4.3.25発行
「シルバーだより」創刊



第33号 H21.1.15発行
首都圏シルバー交流事業



第30号 H19.7.1発行
のびのび 親子の広場オープン



第29号 H19.1.1発行
設立20周年特集



第24号 H16.7.15発行
シルバーワークプラザ開所



第48号 H28.1.1発行
良い年を迎えるために 門松制作



第47号 H27.9.1発行
みどりのスクール 笹巻きづくり



第40号 H24.7.15発行
公益社団法人に移行後、最初の広報紙



第38号 H23.7.1発行
安全第一でがんばります！



◆気が付けば、あれから40余年。縁があつてこの地に棲み付き、今ではすっかり高擡人と思つていたのですが、実は知らないことの方が多いというのを口実の先達にして、探訪に出てみたいと思います。

◆高擡は、過去に城郭のあつた本村地区と、清池・長岡・芳賀の三字地区からなります。高擡という地名については諸説あるようですが、その由来は地形的要素が大きく、年代的な変遷を経てきたようです。一説では、当地は湿地の中の微高地で榆の木が多く繁つていたことによる高擡。「榆」は「たも」とも読むことから「高擡」に。これは室町期のこと。江戸期に入り転訛して「擡」の字となり、明治期より「擡」

が使われるようになったらしい。

◆手元に一冊の小冊子があります。「高擡・歴史ロマン探訪マップ」(高擡地域づくり委員会編)というものです。まさに「わが町探訪」にはうつつつけのリーフレットです。さらに副題には「城下町の面影偲ぶ街並みを訪ねて」とあります。これは我が意を得たり…とペーじをめくれば、高擡は城下町だったのだ。

◆城下町・高擡。そう高擡には城があつたのです。当時の縄張りを見れば一目瞭然なのですが、その名残り・面影は至る所に散在します。城跡の碑は勿論の事、城郭の四方に位置する寺院(安楽寺、願行寺、石佛寺、永源寺など)をはじめ、河上神社(元太子堂)祭礼

わが町探訪 第四回 高擡地区

市内の名所・旧跡、地域の話題などを紹介します。

時に高擡聖霊菩提獅子踊りが奉納される。)、皇大神社(元大日堂)、日枝・八幡・熊野等の各神社、多数の遺跡群(例えば願正壇遺跡)とそれに重なる町名(字名)に見てとれます。

ちなみに城は、山形城主斯波氏が室町時代初期に建てたとされ、平成22年には築城600年祭が挙行されました。最上義光公との縁も深く、一時期をこの城で起居した記録もあります。加えて義光公の菩提寺である山形市寺町にある専称寺は、元々高擡にあつたものを移設したものと記されています。

◆程よい立地条件に恵まれたこの地は、豪農(地主)の多い所でもありました。黒塀や海鼠塀が連なり、見越しの松や門構えとお蔵を望



む街並みは、往時の面影を彷彿させます。今でも「様」付けで呼ばれる名家が沢山あります。

◆そんな豊かな地での人々の暮らしは、官に頼らず自主・自立の気構えに富んでいたようで、県内で最も早い公共上水道である「高擡水道」の歴史がそれを物語っています。

◆自主・自立…といえば我がシルバーセンターの理念を彷彿させるものですね。皆さん、こんな高擡をぜひ探訪してみてください。きつといい旅を堪能できるでしょう。

※執筆にあたっては、市立高擡公民館の山本館長のご協力をいただきました。

副理事長 奥 山 眞 一

(高擡三字班)

会員を募集しています ～入会説明会にどうぞ～

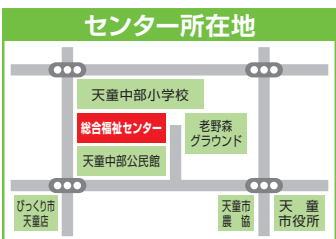
- ★天童市内にお住まいの**原則60歳以上の方**で、健康で働く意欲がありセンターの趣旨に賛同していただける方なら、どなたでも入会できます。
- ★入会説明会に参加し、入会申込書に記入していただきます。理事会で入会を承認後、入会決定通知を送付します。入会手続きの日に、会費を納めていただきます。
- ★会員の働き方には、「**請負・委任**」と「**労働者派遣**」があります。いずれも臨時的かつ短期的又は軽易な就業（月10日程度又は週20時間程度）です。
- ★入会しても、すぐに就業できるとは限りません。センターは、就業した対価として「**配分金**」を支払いますが、収入を保障することはできません。
- ★請負・委任の場合、センター又は発注者と雇用関係を持ちませんので、会員が協力し合って責任を持って業務を履行・完了していただきます。派遣の場合は、派遣先の指揮命令に従い働いていただきます。

入会説明会

とき 2月15日(水)
3月 3日(金)
3月13日(月)
午前10時～
ところ 市総合福祉センター

会 費

初年度年会費
4～9月入会 3,500円
10～12月入会 2,500円
1～3月入会 1,500円
(翌年度からは3,000円)
プラスもみじ会費 500円



【事務所】天童市老野森二丁目6-3
市総合福祉センター2階

お問い合わせ
お電話・FAX でのお問い合わせ
TEL 023-654-7388
FAX 023-652-0213
メールでのお問い合わせ
tendo@sjc.ne.jp

シルバー人材センターをご利用ください!

会員が長年培った知識や技能を活かして、さまざまなお仕事をお引き受けいたします。

技術・技能分野
植木剪定・雪囲い・消毒、障子・ぶすま張替など

一般作業分野
草取り・草刈り、果樹農作業、清掃作業など

管理分野
建物・スポーツ施設・駐輪場管理、福祉施設宿直など

労働者派遣
指揮命令を伴う工場・店舗内の作業、自動車運転、補助的業務など

サービス分野
子育て支援、家事援助、軽度生活援助、登下校見守りなど

事務・外交分野
賞状・宛名書き、調査事務、広報紙配達など

ホームページをご覧ください。 <http://webc.sjc.ne.jp/tendo/>

賀詞 尾形昌幸氏(元会員)
松山一男会員

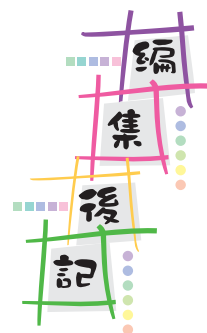
■このたびの広報「シルバーてんどう」は、創刊50記念号です。特集として、これまで発行した広報紙の表紙をいくつか掲載しました。ご覧になり、当目を懐かしく思い出す方もいらっしゃるのでは？

■今後とも、広報紙に対するご意見や情報提供など、ご協力をよろしくお願ひします。

■今年も皆さま方のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

■昨年、熊本県地区を中心とした大地震、また地球温暖化の影響が北海道東部地区への度重なる台風上陸など、自然災害の多い一年でした。幸いにも天童市は災害が少なく、当センターでは今年度も一人ひとりと安全就業に努め、事業実績も順調に推移しています。

新年明けましておめでとうございます。



広報委員会